

静岡県教育委員会

会議録

平成 24 年度 第 19 回定例
1 月 9 日（水）

静岡県教育委員会委員長 高橋尚子は、

平成 25 年 1 月 9 日に教育委員会第 19 回定例会を招集した。

- | | | | | |
|---|-----------|---------------------|---------------|-----------|
| 1 | 開催日時 | 平成 25 年 1 月 9 日 (水) | 開会 | 13 時 |
| | | | 閉会 | 14 時 50 分 |
| 2 | 会 場 | 教育委員会議室 | | |
| 3 | 出席者 | 委 員 長 | 高 橋 尚 子 | |
| | | 委員長職務代理者 | 加 藤 文 夫 | |
| | | 委 員 | 金 子 容 子 | |
| | | 委 員 | 溝 口 紀 子 | |
| | | 委 員 | 斉 藤 行 雄 | |
| | | 委 員 (教育長) | 安 倍 徹 | |
| | 事務局 (説明員) | 寺 田 好 弥 | 教育次長 | |
| | | 杉 本 寿 久 | 事務局参事兼教育総務課長 | |
| | | 田 中 潤 | 事務局参事兼学校教育課長 | |
| | | 鈴 木 啓 之 | 事務局参事兼学校人事課長 | |
| | | 吉 澤 勝 治 | 教育政策課長 | |
| | | 奈良間 一 博 | 情報化推進室長 | |
| | | 石 川 理 惠 子 | 人権教育推進室長 | |
| | | 原 田 揚 一 | 財務課長 | |
| | | 西 川 誠 | 福利課長 | |
| | | 輿 水 まゆみ | 小中学校教育室長 | |
| | | 岩 城 明 | 高校教育室長 | |
| | | 渡 邊 浩 喜 | 特別支援教育室長 | |
| | | 塩 崎 克 幸 | 高校再編整備室長 | |
| | | 活 洲 みな子 | 社会教育課長 | |
| | | 柳 田 恭 一 | 文化財保護課長 | |
| | | 松 田 好 道 | スポーツ振興課長 | |
| | | 中 村 孝 | 静岡教育事務所長 | |
| | | 橋 本 勝 | 静岡西教育事務所長 | |
| | | 谷 野 純 夫 | 中央図書館長 | |
| | | 三ッ谷 三 善 | 総合教育センター所長 | |
| | | 渡 邊 聡 | 学校人事課人事監兼課長補佐 | |

4 その他

- (1) 第 39 号議案は、原案どおり可決された。
- (2) 報告事項 1～5 は了承された。

【開 会】

委 員 長： ただ今より、教育委員会定例会を開催する。
今回の会議録の署名は、金子委員、溝口委員にお願いする。

【非公開の決議】

委 員 長： 議案の審議に入る前に、本定例会の議案の取扱について諮る。
第 39 号議案及び報告事項 3 は人事案件、報告事項 4・5 は調整中の案件であるため、非公開としたいと思うが、異議はないか。

全 委 員： 異議なし。

委 員 長： それでは、第 39 号議案及び報告事項 3・4・5 を非公開とする。

報告事項 1 ライフプラン講習会「生活設計入門型」の開催結果

委 員 長： 報告事項 1 頁「報告事項 1 ライフプラン講習会「生活設計入門型」の開催結果」について、西川福利課長より説明願う。

福 利 課 長： <報告事項についての説明>

委 員 長： 質疑等はあるか。

全 委 員： (特になし)

委 員 長： 報告事項 1 を了承した。

報告事項 2 平成 24 年度 12 月県議会定例会の答弁状況

委 員 長： 報告事項 3 頁「報告事項 2 平成 24 年度 12 月県議会定例会の答弁状況」について、杉本教育総務課長より説明願う。

教育総務課長： <報告事項についての説明>

委 員 長： 質疑等はあるか。

加 藤 委 員： 知事は答弁で専門教育や実学を教えることを強調している。農業高校や工業高校等での教育を充実させると話しているが、教育委員会でも議論はあったが、今後はどのように進めていくのか。

教 育 長： 別の機会に相談させていただくが、知事の発言も含め、防災教育や医学部進学など高校教育のあり方については、総合的に検討する必要があると考えている。

加 藤 委 員： 学校教育が学問を追及することに偏しているところがあるのではないか。小中学校は義務教育だし、高校も約 97 パーセントの生徒が進学している状況で、みんなが学ぶものが果たして学問を追及するというような古典的な学習方法でよいのか。もう少し、社会人として活躍するために必要なスキルや知識を教えなくてよいのか。国語は古典などを教えるのではなく、コミュニケーションを図るための手段を教えるべきではないか。我々は、大学受験のための高校教育や、高校受験のための義務教育を行ってきたため、実社会で使うものとかけ離れたものを教えてきたのではないかと反省している。生きるために最低限必要な知識とは何かというところから考え直さなければ、子どもたちはつまらないことに時間を費やしていることになるかもしれない。

金子委員： 英国の国語も昔は古代英語や中世英語を教えていた。その後、議論を重ねて、現在ではコミュニケーションを図るための教育に変化している。その成果もあり、英国の子どもは世界に雄飛している。それは、一朝一夕にできたことではなく、地道なトレーニングの成果である。

天野県議の質問にある生涯学習支援のことについてだが、私は生涯学習支援の仕組みを構築しなければならないと考えている。教育委員会で一つの大きな視点として持たなければならない。それに関して、中央図書館が拠点になる。現在の館長は率先して取り組んでくれている。社会教育課の報告書を踏まえて、教育委員会で議論する必要がある。教育長の答弁に「生涯学習推進のための先進的な地域づくり」とあるが、「先進的な」というのは、どのようなことを考えているのか。

教育長： 「先進的な地域づくり」とは、中央図書館が置かれている場所が美術館や県立大学がある文教地区であるため、ここに来れば、様々な生涯学習の機会に巡り合えるという意味で「先進的な地域」と答弁した。

金子委員： 了解した。生涯学習については、一度教育委員会で議論したい。

溝口委員： 指定管理者について質問があったが、このような質問があるのは、密室の会議で指定管理者が決められているのではないかという指摘だと思う。体育協会だから専門家で安心なのかといえそうではなく、安全配慮とマネジメントは別である。三ケ日だけでなく、水泳場や武道館についても指定管理者に丸投げするのではなく、安全配慮について注意を払ってほしい。

委員長： 今議会では、私も答弁に立ったが、教育委員は議会で承認されたので、議会できちんと説明していく責任があると改めて感じた。今後必要であれば答弁に立ちたい。

委員長： その他、質疑等はあるか。

全委員： （特になし）

委員長： 報告事項2を了承した。

【会議の非公開】

委員長： ここで会議を非公開とする。

<非>報告事項3 平成24年度静岡県教育委員会優秀教職員表彰被表彰者最終決定

<非>報告事項4 学力検証委員会中間報告

<非>報告事項5 重大な生徒指導事案報告

<非>第39号議案 静岡県銃砲刀剣類登録審査委員の任命

【閉会】

委 員 長： 以上で、本定例会の議事はすべて終了した。
これをもって、平成 24 年度第 19 回教育委員会定例会を閉会とする。